

# 鳥取縣公報

縣令

昭和十六年十二月二十三日  
第一千二百九十五號

火曜日

本書ノ大キサハ國定規格A5列

## ◇鳥取縣令第七十二號

昭和十四年十月十日鳥取縣令第三十三號鳥取縣漁業取締規則左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 入 田 三 郎

第十二條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十二條ノ二 漁業取締上特別ノ必要アル水面ニ於テハ本則ニ規定スルモノ、外專用漁業權並免許漁業權ニ屬スル漁業若ハ機船底曳網漁業又ハ其ノ他ノ漁業ニ付テ一時水産動物ノ採捕又ハ漁具若ハ漁船ノ使用ニ關シ必要アル制限ヲ爲シ又ハ之ヲ禁止スルトアルベシ

第三十九條ヲ第四十條トシテ以下一條ヲ繰下ゲ左ノ一條ヲ加フ

第三十九條 第十二條ノ一ノ處分ニ從ハザル者ハ五十圓以下ノ罰金若ハ科料又ハ拘留ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持スル漁獲物若ハ漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得但シ犯人ノ所有シタル漁獲物又ハ漁具ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ヲ追徴スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

00709

條例

鳥取縣條例第七號

昭和十五年九月鳥取縣條例第五號鳥取縣稅賦課徵收條例中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事

八 田 三 郎

第十條中第一號乃至第三號及第五號ヲ左ノ如ク改ム

一 地租附加稅 本稅一圓ニ付金一圓二十錢

二 家屋稅附加稅 本稅一圓ニ付金一圓二十錢

三 營業稅附加稅 本稅一圓ニ付金一圓二十錢

五 段 別 稅 土地ノ評定實價價格一圓ニ付金二錢四厘

第十一條ヲ左ノ如ク改ム

既往年度ニ屬スル縣稅ハ賦課スベキ事實ノ屬スル年度ノ賦課率又ハ課額ニ依リ一時ニ之ヲ賦課ス

賦課漏又ハ遁脫者ニ對スル縣稅ノ遁脫ノ初期判明セザルトキハ知事ノ認定ニ依リ期間ヲ定メ其ノ期間内毎年度ノ賦課率又ハ課額ニ依リ之ヲ賦課ス

第十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

一六 知事ニ於テ休車ヲ命ジタル自動車ニシテ其ノ期間中(命令ノ翌月ヨリ解除ノ月迄)

第十六條第一項中第四號及第十號ヲ左ノ如ク改ム

西 續區稅附加稅



00710

十二月二十日ヨリ同月二十八日限

一〇 藝 妓 稅

全 額 每月二十日ヨリ同月末日限但シ十二月ニ在リテハ二十日ヨリ二十八日限トス

第四十七條中「七日」ヲ「十四日」ニ「申告」ヲ提出ニ改ム

第四十八條中「又ハ縣内ノ數市町村」ヲ削ル

第六十三條中第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項家屋稅ノ賦課率ハ昭和十五年度分ハ家屋實價價格ノ百分ノ三・五〇昭和十六年度分ハ家屋實價價格ノ百分ノ三・八五ト

附 則

第六十八條 本條例ハ昭和十六年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ本條例中段別稅ニ關スル規定ハ昭和十七年度分ヨリ之ヲ適用ス

第六十九條 本條例ニ依リ増徴トナルベキ縣稅ハ昭和十六年度分ニ限り第五條、第十六條及第六十三條ノ規定ニ拘ラズ左ノ賦課期

日及納期ニ依リ之ヲ賦課徵收ス

賦課期日 一月一日

納 期 一月二十日ヨリ同月末日限

訓 令

鳥取縣訓令第二十九號

鳥取縣立倉吉農學校長  
鳥取縣立日野農林學校長

00711

鳥取縣令第六十九號實業學校修業年限ノ臨時短縮ニ關スル件第六條ニ依ル臨時補習科設置ニ關スル規定左ノ通定ム  
 昭和十六年十二月二十三日

臨時補習科設置ニ關スル規定

- 第一條 鳥取縣令第六十九號實業學校修業年限ノ臨時短縮ニ關スル件第六條ニ該當スル生徒ハ全員臨時補習科ニ收容スベシ
- 第二條 臨時補習科ノ設置期間ハ昭和十七年一月八日ヨリ同年三月二十日マデトス
- 第三條 臨時補習科ハ基礎學科ノ補習ノ教育ヲ行フノ外特ニ生徒ノ修練ニ努ムベシ
- 第四條 臨時補習科修了者ニハ修了證書ヲ交付スベシ但シ出缺ノ狀況ニ依リ之ヲ交付セザルコトヲ得
- 第五條 前條但書ニ依リ修了證書ヲ交付セラレザル生徒ニ對シテハ上級學校入學ノ推薦ヲ取消スコトヲ得
- 第六條 臨時補習科收容中上級學校進學志望ヲ放棄シタル生徒ニ付テハ其ノ都度速カニ勞務ニ服セシムルヤウ指導スベシ
- 第七條 臨時補習科ニ於テハ鳥取縣令第六十九號實業學校修業年限ノ臨時短縮ニ關スル件第四條ニ規定シタル授業料ノ外特ニ經費ヲ徴收セズ

附 則

本令ハ昭和十六年十二月二十三日ヨリ之ヲ施行ス

鳥取縣知事 八 田 三 郎

- 鳥取縣立米子工業學校長
- 鳥取縣立鳥取工業學校長
- 鳥取縣立鳥取商業學校長
- 鳥取縣立倉吉商業學校長
- 鳥取縣立米子商蠶學校長

00712

告 示

◇鳥取縣告示第九百八十號

昭和十六年五月鳥取縣告示第四百十九號利器類ノ販賣價格中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

小賣業者販賣價格

種 別	規 格	價 格
菜 切 庖 丁	黒打ノモノ 刃渡五寸五分柄附三二匁	一、七三
出 刃 庖 丁	同 同 五寸 同 四一匁	一、二二
同	同 同 七寸 同 八一匁	一、九四
薄 刃 庖 丁	磨ノモノ 峰待七寸 同 四八匁	一、六四
裁 物 庖 丁 (大)	同 同 三二匁	一、四二
同 (小)	同 同 二四匁	一、二七
兼 用 口 拔	首下 三寸五分	一、二六
木柄附九角兼用二德罐切	全長七寸五分首下三寸五分軸角二分五厘柄附二四匁	一、二三
輕便式二德罐切		一、〇八
裁縫用握鉞	磨ノモノ 全長 四寸 六匁	一、二五



(三) 小賣業者が店頭ニ於テ一升未満ノ量賣スル場合ハ一合ニ付六厘ヲ加算スルコトヲ得ルモノトス

(四) 壺詰品又ハ壺詰品ヲ壺附又ハ壺附ニテ販賣スル場合ハ左ノ範圍内ニ於テ容器代ノ加算ヲ爲スコトヲ得ルモノトス但シ買主ノ請求アルトキハ空容器ヲ左ノ引取金額以上(小賣業者が引渡ス場合ハ卸賣業者ノ店先渡トシ消費者が引渡ス場合ハ小賣業者ノ店先渡トス)ニテ買戻スコトヲ條件トスル場合ニ限ル

種類	最高加算額	引取金額
一 升 壺	〇、一六	〇、〇五
一 斗 壺	〇、六〇	〇、四五

(五) 買主ノ精算止メニ於テ錢位未滿ノ端數ヲ生ジタル場合ハ四捨五入スルモノトス

◇鳥取縣告示第九百八十二號

昭和十六年五月鳥取縣告示第三百六十七號(玩具木製三輪車販賣價格指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

販賣價格ノ項ヲ左ノ如ク改ム

鳥取縣知事 入 田 三 郎

製造業者最高販賣價格	卸賣業者最高販賣價格	小賣業者最高販賣價格
五、〇〇	五、五〇	六、九〇

附記 ノ次ニ左ノ如ク加フ

◇鳥取縣告示第九百八十三號

價格等統制令第三條第一項ニ依リ左ノ通價格ヲ認可シ同條第二項ニ依リ指定地區内ニ於テ農會員タル資格ヲ有スル者ニシテ農會員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 入 田 三 郎

- 一 組合其ノ他之ニ準ズル者ノ名稱及地區
- (イ) 名 稱 鳥取縣農會
- (ロ) 地 區 鳥取縣一圓

二 構成員タル資格 地區内系統農會及農會員

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

(イ) 額

種 別

受渡場所

單位

生産者最高販賣價格

備考

三 極 (生木)

加工者陸先渡

十貫匁

二、七〇

荷造費ヲ含ム

(ロ) 實施ノ日

昭和十六年十二月二十三日

四 認可ニ附シタル條件

鳥取縣告示第九百八十四號

價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ  
口 認可價格及實施ノ日ヲ縣農會事務所ニ揭示スルト共ニ各郡市町村農會事務所ニ揭示スベシ  
會員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

一 組合ノ名稱及地區

(イ) 名 稱 鳥取縣竹材販賣業組合

(ロ) 地 區 鳥取縣一圓

二 構成員タル資格

地區内ニ於テ竹材ノ販賣ヲ業トスル者

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

(イ) 額 左記ノ通り

(ロ) 實施ノ日 昭和十二年十二月二十三日

四 認可ニ附シタル條件

(イ) 物價調整上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ

(ロ) 認可ヲ受ケタル額及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ揭示スベシ

種別 鳥取縣產竹販賣價格 單位 卸賣業者最高販賣價格 小賣業者最高販賣價格

眞竹 目通り二寸モノ以上五寸モノ迄 一束 一、八五 二、二〇

同 目通り六寸モノ以上一尺一寸モノ迄 同 一、六〇 一、九〇

孟宗竹 目通り二寸モノ以上一尺一寸モノ迄 同 一、五〇 一、七〇

一 目通り一尺二寸モノ以上ノモノノ最高販賣價格ハ本表一東ノ價格(眞竹ニ在リテハ目通り六寸モノ以上一尺二寸モノ迄ノモノ)ヲ基準トシ左ノ割合ニ依リ算出シタル額トス但シ錢位未滿ハ切捨ツルモノトス

目通り 一尺二寸モノ 一本 一東ノ價格ノ三割増

同 一尺三寸モノ 同 六割増

同 一尺四寸モノ 同 十割増

同 一尺五寸モノ 同 十五割増

同 一尺六寸モノ 同 二十割増

同 一尺七寸モノ 同 三十割増

二本表ニ於ケル單位一東トハ左ノ基準ニ依ルモノトス

目通り 二寸モノ 一東入數 五十本

同 三寸モノ 同 四十本

00729

同	四寸モノ	同	十六本
同	五寸モノ	同	十本
同	六寸モノ	同	六本
同	七寸モノ	同	四本
同	八寸モノ	同	三本
同	九寸モノ	同	二本
同	一尺モノ	同	一本 (添七寸モノ一本)
同	一尺一寸モノ	同	一本

(1) 目通りトハ根元ヨリ四尺五寸ノ高サニ當ル箇所ノ圓周ヲ謂フ

(2) 六分以上ハ上寸ニ繰上ゲ六分未満ハ下寸ニ繰下グルモノトス

三 本表卸賣業者最高販賣價格ハ小賣業者店先持込渡價格トス

四 本表小賣業者最高販賣價格ハ大口販賣ノ場合ニ於テハ需要者迄ノ持込渡價格トシ小分賣ノ場合ニ於テハ賣主店先渡價格トス

◇鳥取縣告示第九百八十五號

價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通價格ヲ認可シ同條第二項ニ依リ指定地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ組合員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

一 組合ノ名稱及地區

00730

(イ) 名稱 鳥取縣農工用篩製造販賣業組合  
(ロ) 地區 鳥取縣一圓

二 構成員タル資格

地區内ニ於テ農工用篩ノ製造販賣ヲ営ムモノ

三 價格等統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

(イ) 額

品 種	規 格	仕上寸法	單位	生産者最高販賣價格	販賣業者最高販賣價格
八寸篩	眞鍮網	徑八寸	一個	九三	一〇二
同	亞鉛網	同	同	八三	九一
尺二篩	同	同	同	一二九	一四二
尺五篩	同	同	同	一八〇	一九八
粗篩	同	同	同	二四一	二六五

八寸篩眞鍮網ノモノニ付テハ四十目ヨリ八十目迄ノモノノ目合ニ依ル

八寸篩亞鉛網ノモノニ付テハ二十五目ヨリ三十目迄ノモノノ目合ニ依ル

尺二篩亞鉛網ノモノニ付テハ亞鉛引鐵線九筋ヨリ二十筋迄ノモノノ使用

尺五篩亞鉛網ノモノニ付テハ亞鉛引鐵線四筋ヨリ二十筋迄ノモノノ使用

細節ノモノニ付テハ三分目四分目五分目六分目ノモノノ目合ニ依ルモノトス

一 本表價格ハ賣主店先渡價格トス

(ロ) 實施ノ日 昭和十六年十二月二十三日

四 認可ニ附シタル條件

(イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ

(ロ) 認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ揭示スベシ

◇鳥取縣告示第九百八十六號

鳥取縣水產試驗場水產青年講習生募集要項左ノ如シ

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事

八

田

三

郎

水產青年講習生募集要項

一位 置 鳥取市賀露町一、〇六九

一場 所 鳥取縣水產試驗場

一 講習ノ目的 漁村中堅人物養成

一 講習科目 精神修練、技術修練

學 科

漁政經濟、漁船操典、漁務教範、製造教範、養殖教範、氣象學教程、海洋學教程、造船教程  
修身、公民、國語、作文、理數科、英語、珠算、水產大意、簿記、產業地理

一 募集人員 十 名

一 講習年限 一ケ年(自四月至翌年三月)

一 資格 高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有スル滿十四歲以上滿十九歲未滿ノ身體強健志操堅實ニシテ將來水產業ニ從事セントスル青年

一 手續 續 願書ニ履歷書、出身學校長ノ學業證明書、醫師身體檢查書ヲ添ヘ三月二十日迄ニ鳥取縣水產試驗場宛提出スルコト

一 試驗方法 三月二十五日午前十時鳥取縣水產試驗場ニ於テ口頭試問ヲナス

一 給 費 講習中ハ食費トシテ月拾貳圓支給ス

一 其ノ他少詳細ハ鳥取縣水產試驗場ヘ照會アリタシ

◇鳥取縣告示第九百八十七號

米子市立町一丁目五十九番地足立なつこのニ對シ十二月二十三日付羊豚家兎食鶏商免許鑑札左ノ通下付セリ

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事

八

田

三

郎

一 鑑札番號 第一一七號

一 取扱家畜 食 鶏

◇鳥取縣告示第九百八十八號

健康保健法施行規則第二十三條ニ依リ交付シタル被保險者證中左ノモノハ之ヲ無効トス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事

八

田

三

郎



00733

被保險者證 記號 番號	被保險者氏名	工場事業場又ハ事 務所在地並名稱	無効トナリタル被保 險者證交付年月日	無効トナリタル 年月日
八さち	九 松尾 豊彦	入頭郡用瀬町 笹川製材工場	一六、二、一〇	一六、一一、二四
日いろ	九〇 渡邊美喜江	日野郡多里村 稻積 鑛山	一四、七、二九	一六、一一、三三
鳥と	二八三 西村 忠之	鳥取市西町 鳥取木工株式會社	一四、二、二三	一六、六、二〇
氣やに	一 高田 光義	氣高郡吉岡村 山口製材所	一六、六、一〇	一六、一一、一
鳥とか	八 有松 利彦	鳥取市東品治町 鳥取タイヤ修繕所	一五、七、二〇	一六、三、三〇
鳥しい	三 加藤 正行	鳥取市東品治町 昭和パラス株式會社	一三、一二、一四	一六、一一、二二
鳥ふく	五〇 岡本 弘	鳥取市富安 文化飯櫃製作所	一六、一〇、一〇	一六、一一、二〇
鳥ひ	四七九 中島 昌行	鳥取市東品治町 日ノ丸自動車株式會社	一三、三、二五	一六、九、一五
鳥され	四〇 森原 榮治	鳥取市吉方 澤田鐵工所	一五、一一、四	一六、一一、一九
鳥なな	六五 森岡 勇治	鳥取市川外大工町 中原鐵工所	一五、六、一九	一六、一一、二〇
鳥にろ	一〇六 田中 滿治	鳥取市西品治町 日本フアイバー紙器株式會社	一六、七、二六	一六、一一、一一
入をと	三 具性生	入頭郡大村 大村鑛山	一四、一〇、一六	一六、一一、一〇

00734

被保險者證 記號 番號	被保險者氏名	工場事業場又ハ事 務所在地並名稱	無効トナリタル被保 險者證交付年月日	無効トナリタル 年月日
岩せい	五八 山本 義晴	岩美郡成器村 成器鑛山	一四、二、一	一六、一一、一
<b>◇鳥取縣告示第九百八十九號</b> 職員健康保險法施行規則第三十二條ニ依リ交付シタル被保險者證中左ノモノハ之ヲ無効トス 昭和十六年十二月二十三日				
職鳥とい	四二 荒川 清子	鳥取市御弓町 鳥取購買利用組合	一五、五、三〇	一六、一〇、一四
職米さに	七 龜家 榮一	米子市法勝寺町 山陰合同銀行米子東支店	一五、五、三〇	一六、一一、一一
職鳥まい	二二九 山田とよ子	鳥取市東品治町 丸山百貨店	一六、四、五	一六、一一、一〇
職鳥さい	二二 渡邊石太郎	鳥取市若櫻町 山陰合同銀行鳥取東支店	一五、五、三〇	一六、一一、八
同	二八 中尾 鐵雄	同	一五、五、三〇	一六、一一、八
職鳥まい	一一二 河村 増藏	鳥取市東品治町 丸山百貨店	一五、五、三〇	一六、一〇、二〇
同	七八 森出ヒサユ	同	一五、五、三〇	一六、一〇、二五
同	二二四 山根 君雄	同	一六、五、五	一六、一一、四

同	二二七	山本 とし	同	一六、五、五	一六、一〇、一九
同	二二八	谷村 幸吉	同	一六、三、七	一六、一〇、二三
同	一三七	高濱吉太郎	同	一六、五、三〇	一六、一一、一八

◇鳥取縣告示第九百九十號

昭和十六年三月鳥取縣告示第二百四十六號(玩具及人形ノ販賣價格指定ノ件)中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

(一) 三月節句物

小賣業者販賣價格中左ノ如ク改ム	衣裳着親王三五	三級	一四、一〇
	衣裳着官女ケシ	四級	一二、二五
	衣裳着五人囃子及樂人級ケシ	三級	一二、二五
	雛御殿	中形	一二、七〇
	同	大形	一七、二五
	同	大々形	二二、七〇
	同	特大形	二九、一〇
	同	極大形	三九、一〇

00736

衣裳着衛士ノ次ノ附記(二)ノ但書ヲ削ル

衣裳着世人形ノ附記(三)並(五)ヲ削リ(四)ヲ(三)ニ改ム

(二) 五月節句物

小賣業者販賣價格中左ノ如ク改ム

衣裳又ハ鍔着金時	七寸	三級	一四、一〇
同	七寸	四級	一九、一〇
飾馬	九寸	三級	一四、一〇
同	尺二	三級	一九、一〇
座敷戰平粹	大々形		一二、二五
同	屏風粹	小形一級	一四、一〇
同	同	同二級	一九、一〇
同	同	中形一級	一九、一〇
同	同	同二級	二八、二〇
同	同	大形一級	二八、二〇
同	同	同二級	三八、二〇
一本立轆	大形三級		一四、一〇
飾具足	八寸	四級	一四、一〇
同	尺	四級	一七、二五



一本立幟ノ附記 (一)ノ但書ヲ削ル  
 軍扇陣笠揃ノ附記ヲ左ノ如ク改ム  
 軍扇又ハ陣笠ヲ端賣スル場合ノ價格ハ本表價格ノ半額トス

(三) 浪速風五月節句物

小賣業者販賣價格中左ノ如ク改ム

上弓	太刀	尺五	一〇、四五
同		尺八	一三、二〇
飾	太鼓	別上	一〇、九〇
座敷幟	阪製 奴七本立 上		一二、七〇
同	上 奴幟 下		一〇、九〇
同	同	中	一四、一〇
同	同	上	一八、六五
紙	鯉		一〇、〇〇
布	鯉幟		一〇、九〇
同			一六、三五
同			二〇、九五
同			一〇、九〇
同			一五、〇〇

同 同 三間 三間半

二〇、〇〇 二四、一〇

節句物註 (一)ヲ左ノ如ク改ム

(一) 前各表價格ハ物品稅ヲ加算シ得ルモノトス

(一) 大物玩具

小賣業者販賣價格中左ノ如ク改ム

番號	七六	七六	二、七〇	番號	九二	六、一五
	七六	七七	二、九五		九三	六、三五
	七八	七八	三、〇〇		九四	六、六〇
	七九	七九	三、二〇		九五	六、八〇
	八〇	八〇	三、四〇		九六	七、〇五
	八一	八一	三、六五		九七	七、二五
	八二	八二	三、八五		九八	七、五〇
	八三	八三	四、一〇		九九	七、七〇
	八四	八四	四、三〇		〇〇	七、九五
	八五	八五	四、五五		〇一	八、二〇
	八六	八六	四、七五		〇二	八、四〇
	八七	八七	五、〇〇		〇三	八、六五
	八八	八八	五、二〇		〇四	八、八五
	八九	八九	五、四五		〇五	九、〇〇
	九〇	九〇	五、七〇		〇六	九、〇〇
	九一	九一	五、九〇		〇七	九、〇〇

附記 (三) ヲ左ノ如ク改ム

(一三) 花火、トランプ (花トランプヲ含ム) ノ價格ハ本表ノ規定ニ拘ラズ左表ニ依ルモノトス

イ 花火 ロ トランプ (トランプ花ヲ含ム) ノ販賣價格ヲ左ノ如ク改ム

ロ トランプ (トランプ花ヲ含ム)

(單位圓)

卸賣業者販賣價格(單位一打)

小賣業者販賣價格(單位一組)

品名	規 格	卸賣業者販賣價格(單位一打)	小賣業者販賣價格(單位一組)
米標型	長巾 二寸〇二以上 長サ 二寸八五以上	二八、二五	二、九〇
同	同	二三、七六	二、四〇
同	同	二一、九六	二、二〇
佛標型	巾 同	四七、七六	五、一〇
同	長巾 二寸八五以上 長サ 二寸八五以上	三六、二四	三、八〇
同	同	三〇、九六	三、二〇
同	同	二五、五六	二、六〇
長間型	長巾 二寸七五以上 長サ 二寸七五以上	三九、八四	四、二〇
同	同	三二、六四	三、四〇
同	同	二九、一六	三、〇〇
同	同	二三、七六	二、四〇
同	同	三三、六〇	三、五〇

小賣業者販賣價格中左ノ如ク改ム

(一) 日本人形

品名	規 格	卸賣業者販賣價格(單位一打)	小賣業者販賣價格(單位一組)
和服人形	三級	一一、七〇	二、一〇
同	四級	一一、七〇	二、一〇
同	百二番	一一、七〇	二、一〇
舞踊人形	二級	一一、七〇	二、一〇
同	三級	一〇、〇〇	一、七〇
同	四級	一〇、〇〇	一、七〇
同	五番	一七、七〇	一、三五

(二) 西洋風人形

眠り人形 高さ一尺三寸以上、上人絹ベビー長服、袖付二段ヒダ以上、笛入、紙箱入 一一、三五

三 本表價格ハ物品稅ヲ加算シ得ルモノトシ骨牌稅ハ含ムモノトス

品名	規 格	卸賣業者販賣價格(單位一打)	小賣業者販賣價格(單位一組)
豆型	巾 長サ 一寸一〇以上 長サ 一寸八五以上 一寸〇五以上 一寸四五以上	二四、七二 二四、七二 二六、五二 二一、一一	二、五〇 二、五〇 二、七〇 二、一〇
小 型	巾 長サ 一寸一〇以上 長サ 一寸八五以上	二四、七二 二四、七二	二、五〇 二、五〇
同	同	二八、二〇	二、九〇
中 型	長巾 長サ 二寸二〇以上 二寸〇五以上	二四、七二 三〇、〇〇	二、五〇 三、一〇
同	同	二八、二〇	二、九〇
同	同	二四、七二	二、五〇
同	同	二九、一六	三、〇〇
同	同	二四、七二	二、五〇
同	同	二八、二〇	二、九〇
同	同	二四、七二	二、五〇
同	同	二六、五二	二、七〇
同	同	二一、一一	二、一〇
同	同	二四、七二	二、五〇
同	同	二一、一一	二、一〇

00743

鳥取縣告示第九百九十一號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル生花切花及枝物類ノ最高販賣價格左ノ通指定ス  
昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 入田三郎

品名	通稱別名	單位	期間	卸賣最高價格	小賣最高價格
一切花及葉物					
アイチチヨーク	朝鮮薔	一本(二尺以上) 一本(二尺未満)	十一月ヨリ翌年三月迄 他ノ月	二五〇錢	一四七錢
同 (葉)		一枚		二	三
アイリス		一本	十一月ヨリ翌年三月迄 他ノ月	二四二	一六七
アガパンサス		同 (葉付)		七	〇
アザミ		一本	十二月ヨリ翌年四月迄 他ノ月	二八	三一
アスクレピアス、 チユベローサ	宿根パンヤ	一本		二	三
アスパラカス (ミリオクラダス)		同 (二尺以上)		二〇	二八
同 (同)		同 (二尺未満)		一〇	一四
同 (フアルカダス及 ブルモリサナナス)		同		五	七
同 (其ノ他)		一本(二尺以上) 一本(二尺未満)		一三	二五

00744

アネモネ	一本	十一月ヨリ三月迄 其ノ他ノ月	一四	二六
アマリリス	同 (葉付)		一七	二四
アンズリウム	同		二〇	二八
イキシア	同	一月ヨリ三月迄 其ノ他ノ月	二五	三七
イチハツ (花)	同 (葉付)	二月ヨリ三月迄 其ノ他ノ月	二八	三一
同 (葉)	一活		六	八
エゾギク	一本		五	七
オモダカ	一活		一五	二一
オモト (班入葉及 タイソウカン)	同 (實付) 同 (實無)		五〇〇	六一五
同 (其ノ他)	同 (同)		二五五	三三五
カーネション	一本	十二月ヨリ翌年三月迄 四月ヨリ五月迄 其ノ他ノ月	二四	六一七
ガシ	一本 (葉付)	十一月ヨリ翌年五月迄 其ノ他ノ月	三七	四〇
カキツバタ	一活		一三	二〇
カハホネ	同		一二	一七
兜 菊	一本		三	四

カライトサウ	一本	同活	十一月ヨリ翌年四月迄	二四六	二二
甘草	一本	一本	十一月ヨリ三月迄	二六	三八
桔梗	一本	同	十一月ヨリ四月迄	二〇	三四
菊 (大輪咲一莖一輪)	同	同	其ノ他ノ月	二〇	三
同 (中輪咲一莖一輪)	同	同		〇	二八
同 (中輪咲一莖二一五輪)	同	同		七	一〇
同 (其ノ他「寒菊」)	同	同 (根ノ他)		五	七
同 (同「其ノ他」)	同	同 (葉付)		二八	一
ギバウシ	一活	同		三	五
金魚草	一本	一本	十二月ヨリ翌年四月迄	九	一四
草夾竹桃	同	同	其ノ他ノ月	二〇	三四
君子蘭	同	同 (葉付)		三	四
グラジオラス	一本	一本	十月ヨリ翌年五月迄	七〇	九〇

鳥取縣公報 第千二百九十五號 昭和十六年十二月廿三日 (第三種郵便物認可) 二八

シユロ	一活	同		二〇	二八
ジンジャ (白花)	一本	同		四	六
同 (其ノ他)	同	同		〇	四
パンパス、グラス	同	同		四	六
ブーバルシ	同	同		六	八
ブツドレ	同	同	十一月ヨリ四月迄	二五	三一
同 (其ノ他)	同	同	其ノ他ノ月	〇	三
タ霧草	同	同	四月ヨリ七月迄	三〇	四四
同 (其ノ他)	同	同	其ノ他ノ月	一	七
同 (元葉)	一枚	一枚		二	四
同 (花)	一本	一本		三	四
同 (其ノ他)	一本	一本		〇	一
芍薬	一本	一本		七	〇
宿根霞草	一本	一本		三	四
春蘭	同	同 (葉付)		二	三
シラシラ	同	同	十一月ヨリ四月迄	一三	二四
同 (其ノ他)	同	同	其ノ他ノ月	三	四
水仙 (大喇叭)	同	同	十一月ヨリ翌年三月迄	三四	四〇
同 (其ノ他)	同	同	其ノ他ノ月	四	〇
同	同	同	十一月ヨリ翌年三月迄	二五	三七

鳥取縣公報 第千二百九十五號 昭和十六年十二月廿三日 (第三種郵便物認可) 二九

00747

睡蓮	スキート、サルタン	〔サルタン ニホヒヤグルマ〕	一本	〔十二月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	二八
スキート、ビー			同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	一四	二六
鈴蘭	スタチス		同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
スツク			同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
ゼラニウム			同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
ダリヤ (小輪)	ボンボンダリヤ		同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
同 (其ノ他)			一本	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
チユーリップ			同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
チュベリス			同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
ツバキ			二活本	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二〇	三四
天門冬	天門草		一本	〔十二月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三	一六
菜の花	菜		同	〔十二月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三	一六
葉鶏頭			同	〔十二月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三	一六
花萼蒲 (花)			同	〔二月ヨリ五月迄 其ノ他ノ月〕	二	三

鳥取縣公報 第千二百九十五號 昭和十六年十二月廿三日 (第三種郵便物認可)

三〇

00748

同 (葉)	花萼	一枚	〔十二月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	一	二
葉	牡丹	二活本	〔十一月ヨリ翌年五月迄 其ノ他ノ月〕	二〇六	二七
バ	蘭 (班入)	一活	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	二五	一七
同	同 (其ノ他)	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三〇	一七
同	同 (其ノ他)	一本	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	一〇	一四
同	同	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三	五
同	同	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	五	七
同	同	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	三六	四八
同	同	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	二	三
同	同	同	〔十一月ヨリ翌年三月迄 其ノ他ノ月〕	一〇	一四
同	同	一輪 (枝付)	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二七	三五
同	同	同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	一〇	一四
同	同	一本	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二	三
同	同	同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	二	三
同	同	同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	一六	二八
同	同	同	〔十二月ヨリ翌年四月迄 其ノ他ノ月〕	一五	二七

鳥取縣公報 第千二百九十五號 昭和十六年十二月廿三日 (第三種郵便物認可)

三一











ヒ	バ (イトヒバ)	一本(三尺以上)	一七	二四
同	(黄金ヒバ)	一把(三尺以上)一本當	六	八
同	(クジヤクヒバ)	同(同)	九	三
同	(シノフヒバ)	同(同)	三	四
同	(チャボヒバ)	同(同)	一五	二
ヒ	ヒラギナンテン	同(同)	一	一
ヒ	ムロスギ	同(同)	五	七
枇	杷	同(同)	一〇	一
藤	(根付)	一本(二尺以上)	一〇	一
ボ	ケ	一把(二尺以上)一本當	二五	一
マ	サキ (ベッコウ金)	一把(三尺以上)一本當	八	一
同	(其ノ他)	同(同)	三	四
萬	吉杉(根付)	一本(二尺以上)	二	三
マ	ン サ ヲ	一把(三尺以上)一本當	八	一
萬	兩	一把(二尺以上)一本當	七	一
蜜	柑	一本(三尺以上)	三〇	三
ミ	ズキ (トサミズキ)	一把(三尺以上)一本當	三	八
同	(ヒメミズキ)	同(同)	六	三

ム	ベ	同(同)	一四	二〇
モ	ク セ イ	同(同)	五	七
木	蓮	同(同)	一四	一
桃	(アメントウ)	一本(二尺以上)	三	一
同	(其ノ他)	一把(三尺以上)一本當	四九	一
ヤ	ツ デ	同(同)	一四	二〇
柳	(石化)	同(同)	一〇	一四
同	(雲龍)	同(同)	六	八
同	(其ノ他)	同(同)	三	四
山	吹	同(同)	一五	二七
雪	柳	一把(二尺以上)一本當	一五	二七
ユ	リ ノ キ	一把(三尺以上)一本當	三	四
吉	野 杉	同(同)	三	四
ラ	イ ラ ヲ	同(同)	三	四
ラ	カ ン マ キ	同(同)	三	四
林	生 梅	同(同)	二	三
レ	ン ギ ヲ	同(同)	四	一









00765

鳥取縣告示第九百九十四號

昭和十六年十二月八日通常縣會ニテ議決ニ係ル昭和十七年度鳥取縣歳入歳出豫算、同年歳特別會計大禮恩賜賑恤資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計慈善救濟資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計罹災救助基金歳入歳出豫算、同年歳特別會計男女青年團指導獎勵資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計教育資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計國民學校職員恩給金歳入歳出豫算、同年歳特別會計國民學校職員加俸資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計公立學校職員加俸資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計吉慶學校實習費歳入歳出豫算、同年歳特別會計中等學校改築費歳入歳出豫算、同年歳特別會計治水事業費歳入歳出豫算、同年歳特別會計自作農創設維持獎勵資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計自作農創設未墾地開發資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計產業資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計畜產增殖資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計時局對策畜產獎勵資金歳入歳出豫算、同年歳特別會計種牡牛獎勵事業費歳入歳出豫算、同年歳特別會計第二次畜產增殖事業費歳入歳出豫算、同年歳特別會計中小商工業金融施設費歳入歳出豫算、同年歳特別會計智頭農林學校實習費歳入歳出豫算並昭和十六年度鳥取縣歳入歳出追加更正豫算、同年歳特別會計大禮恩賜賑恤資金歳入歳出更正豫算、同年歳特別會計罹災救助基金歳入歳出更正豫算、同年歳特別會計公立學校職員加俸資金歳入追加更正豫算、同年歳特別會計就學獎勵資金歳入追加更正豫算、同年歳特別會計自作農創設維持獎勵資金歳入追加更正豫算及昭和十七年度鳥取縣歳入歳出追加豫算ノ要領左ノ通

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

00766

昭和十七年度鳥取縣歳入歳出豫算

歳 入		歳 出	
經 常 部	圓	經 常 部	圓
第一款 國稅 附加稅	五七四、七七五	第二項 船 舶 稅	三八三
第一項 地 租 附加稅	二五〇、七一八	第三項 自 動 車 稅	七、九五七
但シ地租豫算金高十七萬八千九百四十二圓本稅一圓ニ付		第四項 電 柱 稅	三三、五三五
金一圓四十錢		第五項 不 動 產 取 得 稅	五九、二七六
過年度地租豫算金高二百圓本稅一圓ニ付金一圓		第六項 漁 業 權 稅	四一三
第二項 家 屋 稅 附加稅	一三五、五〇四	第七項 狩 獵 者 稅	一、六六三
但シ家屋稅豫算金高九萬六千七百八十九圓本稅一圓ニ付		第八項 藝 妓 稅	一九、七二二
金一圓四十錢		第九項 家 屋 稅	一〇
第三項 營 業 稅 附加稅	一八三、五五〇	第三款 目 的 稅	五、一三〇
但シ營業稅豫算金高十三萬圓本稅一圓ニ付金一圓四十錢		第一項 都 市 計 畫 稅	五、一三〇
過年度營業稅豫算金高一千五百五十圓本稅一圓ニ付金一		第四款 地 方 分 與 稅	二、八四一、八一二
圓		第一項 還 付 稅	四〇六、一七四
第四項 鑛 區 稅 附加稅	五、〇〇三	第二項 配 付 稅	二、四三五、六三八
但シ鑛區稅豫算金高五萬三十圓本稅一圓ニ付金十錢		第五款 舊法ニ依ル稅收入	八四
第二款 獨 立 稅	一二七、七五六	第一項 營 業 收 益 稅 附加稅	三九
第一項 段 別 稅	四、八〇七	但シ營業收益稅豫算金高五十圓本稅一圓ニ付金七十八錢	
但シ土地評定賃貸價格十七萬一千六百八十圓賃貸價格一		三厘五毛	
		第二項 所 得 稅 附加稅	四〇
		但シ所得稅豫算金高百圓本稅一圓ニ付金四十錢四厘四毛	

00767

第三項	鑛業稅附加稅	一	一九、〇〇〇
第四項	家屋稅	一	六七、七四三
第五項	營業稅	一	一〇〇、〇〇〇
第六項	雜種稅	一	六四、三五九
第七項	都市計畫特別稅	一	五、九七五、三二二
但シ營業收益稅豫算金五十圓本稅一圓ニ付金二錢			
第六款	財產收入	一〇、〇八〇	一圓
第一項	不動產收入	一、〇八〇	一
第二項	動產收入	九、〇〇〇	一
第七款	使用料及手数料	九五二、九二七	一
第一項	使用料	六二四、五五二	一
第二項	手数料	三二八、三七五	一
第八款	國庫下渡金	一、一六〇、六二四	一
第一項	警察費下渡金	三一四、八四九	一
第二項	義務教育費下渡金	八四五、七七五	一
第九款	雜收	三〇二、一二四	一
第一項	納付金	四〇、四七二	一
第二項	恩給分擔金	九、四一五	一
第三項	懲罰及沒收金	五〇	一
第十項	辨償金	一、〇八五	一
第五項	道路損傷負擔金	一	一九、〇〇〇
第六項	物品賣拂代	一	六七、七四三
第七項	過年度收入	一	一〇〇、〇〇〇
第八項	雜入	一	六四、三五九
經常部計		一	五、九七五、三二二
臨時部		一	一圓
第一款	繰越金	一	一圓
第一項	前年度繰越金	一	一
第二款	國庫補助金	一	一、五〇〇、五〇五
第一項	統計費補助金	一	一、五〇〇、五〇五
第二項	土木費補助金	一	一二、六二〇
第三項	教育費補助金	一	九三、〇〇〇
第四項	衛生費補助金	一	二四六、〇九五
第五項	勸業費補助金	一	二一、五六五
第六項	社會事業費補助金	一	一、〇八四、九四一
第七項	時局事務補助金	一	二一、四一八
第八項	自治振興費補助金	一	二、〇〇〇
第九項	敬神思想普及獎勵費補助金	一	一六、五〇〇
第十項	防空費補助金	一	三〇〇

00768

第三款	寄附金	三三五、四〇六	歲出
第一項	土木費寄附金	六六、三三七	經常部
第二項	教育費寄附金	一一一、五四〇	第一款
第三項	勸業費寄附金	一四七、二七九	第一項
第四項	都市計畫地方委員會寄附金	三、七五〇	神社社費
第五項	縣債費寄附金	六、五〇〇	神社社費
第四款	繰入金	四六、八三九	第二款
第一項	特別會計繰入金	四六、八三九	第一項
第五款	國庫補給金	四〇九、九八一	第一項
第一項	縣債元利補給金	四〇九、九八一	縣參事會費
第六款	償還金	二七九、〇二三	第二款
第一項	元子金	二三四、六〇〇	第一項
第二項	利子金	四四、四二三	第一項
第七款	立替金	七五、〇九九	第二項
第一項	農業水利改良事業費立替金	七五、〇九九	警察費
第八款	縣債	一、三八七、七〇〇	第一款
第一項	縣債	一、三八七、七〇〇	第一項
臨時部計		四、〇三四、五五四	第一項
歲入合計		一〇、〇〇九、八六六	警察廳舍修繕費
第一款	經常部	八、〇五八	第一款
第一項	神社社費	三、六三八	第一項
第二項	供進金	三、七七〇	第一項
第三項	神職養成費	一五〇	第一項
第四項	敬神思想普及獎勵費	五〇〇	第一項
第二款	會議費	二六、九六六	第一項
第一項	縣會議費	一七、七六八	第一項
第二項	縣參事會費	九、一九八	第一項
第三款	縣職員費	三九六、九九二	第一項
第一項	俸給諸給	三五四、七八五	第一項
第二項	應給費	四二、二〇七	第一項
第四款	警察費	五九三、七六九	第一項
第一項	俸給及諸給	五二三、九七四	第一項
第二項	應給費	六四、七九五	第一項
第三項	教養費	一、〇〇〇	第一項
第四項	機密費	四、〇〇〇	第一項
第五款	警察廳舍修繕費	九、九一二	第一項

00769

第六款 土木	第一項 道路橋梁費	一八九、〇九三	第二項 赴任旅費	一一、二〇六
	第二項 治水堤防費	一七四、二八三	第九款 衛生及病院費	一〇四、三六三
	第三項 港灣費	九、八六〇	第一項 病院費	一〇、四七八
	第四項 境務所費	二、〇〇〇	第二項 衛生諸費	九三、八八五
第七款 教育		二、九五〇	第十款 勸業費	六七五、〇一六
第一項 師範學校及八頭高等女學校費		一、〇二七、七九七	第一項 勸業會費	二六二
第二項 中學校費		二二二、六七二	第二項 農事試驗場費	六〇、三四九
第三項 高等女學校費		二二六、一四〇	第三項 農會技術員養成所費	三、四七五
第四項 農業學校費		一三九、〇五五	第四項 農產物檢查所費	一三三、九二七
第五項 商業學校費		八五、三五〇	第五項 修鍊農場費	一七、一九五
第六項 工業學校費		五九、六〇二	第六項 蠶業取締所費	四〇、〇一四
第七項 米子商蠶學校費		一一八、八七二	第七項 蠶業試驗場費	二九、七七八
第八項 盲聾啞學校費		三七、四六七	第八項 繭業試驗場費	五二、九四〇
第九項 大山訓練所費		一一、九九三	第九項 繭檢定所費	二六、九四二
第十項 男子師範學校大陸科費		一三、四三九	第十項 種畜場費	二、九二七
第十一項 學事諸費		三四、四〇〇	第十一項 林業費	三七、六〇一
第十二項 教職員共濟組合費		六一、三一八	第十二項 林產物檢查所費	六二、八三五
第八款 國民學校教職員費		二六、四八九	第十三項 水產試驗場費	二二、六五一
第九款 職員俸給費		一、七四三、二〇九	第十四項 木工指導所費	一八、二五四
		一、七三一、〇〇三	第十五項 產業獎勵費	一一三、四六九

00770

第十款 勸業諸費	第五、三九七	第十八款 縣稅取扱費	七三、三七八
第十一項 社會事業費	二七、四八七	第一項 徵收費	二二、六〇九
第十二項 獎德學校費	六、九六三	第二項 金庫諸費	二、〇〇〇
第十三項 社會事業諸費	八、八二〇	第三項 財務出張所費	四一、六四五
第十四項 社會教育費	一一、七〇四	第四項 雜費	六、一二四
第十五項 青年學校教員養成所費	六二、一三三	第十九款 諸達書及揭示諸費	五、七〇六
第十六項 青年學校教員養成所費	二九、〇六八	第一項 令達諸費	五、七六〇
第十七項 圖書館費	一五、〇三五	第二十款 豫備費	一〇、〇〇〇
第十八項 社會教育諸費	一八、〇一〇	第一項 豫備費	一〇、〇〇〇
第十九項 都市計畫委員會費	八、九一〇	經常部	四、九七〇、二九三
第二十項 都市計畫地方委員會費	八、九一〇	臨時部	
第二十一項 觀光費	二、一〇〇	第一款 警察費	六四、六四四
第二十二項 觀光費	二、一〇〇	第二項 俸給及諸給費	四七、三六八
第二十三項 史蹟名勝天然記念物保存費	二五〇	第三款 土木費	一七、二七六
第二十四項 史蹟名勝天然記念物保存費	二五〇	第一項 土木建築監督吏員費	三、三五〇
第二十五項 史蹟名勝天然記念物保存費	二五〇	第二項 河水統制調查費	一、〇〇〇
第二十六項 衆議院議員選舉費	二六三	第三款 教育費	二、三五〇
第二十七項 衆議院議員選舉費	二六三	第一項 特別會計補充費	四五八、四四二
第二十八項 衆議院議員選舉費	四、八五七	第二項 農業學校費	四、四一七
第二十九項 衆議院議員選舉費	三、三〇〇		三、〇二五
第三十項 衆議院議員選舉費	一、五五七		

第四款 勸業費	第一項 勸業費	一〇、一六六	第十四款 社會事業補助費	第一項 社會事業補助費	二九、九六
第五款 振興會費	第一項 振興會費	二、〇〇〇	第十五款 社會教育補助費	第一項 社會教育補助費	二九、九六八
第六款 軍事援護費	第一項 軍事援護費	九、六〇〇	第十六款 地方改良補助費	第一項 地方改良補助費	一三、三八〇
第七款 政府職員共濟組合費	第一項 內務職員共濟組合費	一一、四九三	第十七款 在鄉軍人會補助費	第一項 在鄉軍人會補助費	六、五〇〇
第八款 神祇會補助費	第一項 神祇會補助費	一一、四九三	第十八款 傷疾軍人會補助費	第一項 傷疾軍人會補助費	六、五〇〇
第九款 統計補助費	第一項 統計補助費	二〇〇	第十九款 紀元二千六百年記念事業費	第一項 紀元二千六百年記念事業費	五〇〇
第十款 市町村統計補助費	第一項 市町村統計補助費	一一、〇八三	第二十款 造林事業費	第一項 造林事業費	七、〇七四
第十一款 土木補助費	第一項 土木補助費	二二、〇〇〇	第二十一款 森林治水事業費	第一項 森林治水事業費	二四九、四〇四
第十二款 教育補助費	第一項 教育補助費	二、四八〇	第二十二款 荒廢林地復舊事業費	第一項 荒廢林地復舊事業費	一五〇、六〇八
第十三款 衛生補助費	第一項 衛生補助費	二、四八〇	第二十三款 公有林野造林費	第一項 公有林野造林費	四二、四五〇
第十四款 勸業補助費	第一項 勸業補助費	一四、三〇〇	第二十四款 民有林野造林費	第一項 民有林野造林費	三六、四〇六
第十五款 衛生補助費	第一項 衛生補助費	一四、三〇〇	第二十五款 民有林計畫實施獎勵費	第一項 民有林計畫實施獎勵費	一九、九四〇
第十六款 勸業補助費	第一項 勸業補助費	一〇九、二五五	第二十六款 災害防止林業施設費	第一項 災害防止林業施設費	三五、七一四
第十七款 勸業補助費	第一項 勸業補助費	一〇九、二五五	第二十七款 海岸砂防林造成費	第一項 海岸砂防林造成費	二六、九七五
第十八款 勸業補助費	第一項 勸業補助費	一〇九、二五五	第二十八款 防潮林造成費	第一項 防潮林造成費	三、二六一

第三項 類雪防止林造成費	第一項 類雪防止林造成費	三、七八三	第三十一款 智頭農林學校施設費本年支出額	第一項 智頭農林學校施設費本年支出額	九八、四七〇
第四項 防風林造成費	第一項 防風林造成費	一、六九五	第三十二款 智頭農林學校施設費本年支出額	第一項 智頭農林學校施設費本年支出額	九八、四七〇
第五項 早害防止農用公共施設補助費	第一項 早害防止農用公共施設補助費	七、一六五	第三十三款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第六項 農地造成改良事業費	第一項 農地造成改良事業費	七、一六五	第三十四款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第七項 開墾助成事業費	第一項 開墾助成事業費	三、八、一〇九	第三十五款 工業學校建設費本年支出額	第一項 工業學校建設費本年支出額	一三、七五〇
第八項 早害地方農用公共施設新設改良事業費	第一項 早害地方農用公共施設新設改良事業費	二、二二〇	第三十六款 工業學校建設費本年支出額	第一項 工業學校建設費本年支出額	一三、七五〇
第九項 土木費負擔本年度支出額	第一項 土木費負擔本年度支出額	三、五、八八九	第三十七款 鳥取第二中學校建設費本年支出額	第一項 鳥取第二中學校建設費本年支出額	二、〇二五
第十項 千代川改修費負擔本年度支出額	第一項 千代川改修費負擔本年度支出額	一三六、〇〇四	第三十八款 工業學校建設費本年支出額	第一項 工業學校建設費本年支出額	二、〇二五
第十一項 天神川改修費負擔本年度支出額	第一項 天神川改修費負擔本年度支出額	一〇五、〇〇〇	第三十九款 工業學校建設費本年支出額	第一項 工業學校建設費本年支出額	一三、七五〇
第十二項 中小河川改良事業費本年支出額	第一項 中小河川改良事業費本年支出額	一八六、〇〇〇	第四十款 工業學校建設費本年支出額	第一項 工業學校建設費本年支出額	一三、七五〇
第十三項 大路川改良事業費本年支出額	第一項 大路川改良事業費本年支出額	六六、〇〇〇	第四十一款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第十四項 小松谷川改良事業費本年支出額	第一項 小松谷川改良事業費本年支出額	二二〇、〇〇〇	第四十二款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第十五項 農業水利改良事業費本年支出額	第一項 農業水利改良事業費本年支出額	三五、三二九	第四十三款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第十六項 北條用排水改良事業費本年支出額	第一項 北條用排水改良事業費本年支出額	一〇一、〇〇〇	第四十四款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五
第十七項 入橋町外六ヶ村農業水利改良事業費本年支出額	第一項 入橋町外六ヶ村農業水利改良事業費本年支出額	四四、三五九	第四十五款 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	第一項 米子商蠶學校臨時設備費本年支出額	一、〇六五

06778

第三十二款	倉吉中學校臨時設備費 本年度支出額	二、二四〇	第三十九款	特別會計運用金積戻金	三、五七六
第一項	倉吉中學校臨時設備費 本年度支出額	二、二四〇	第一項	運用金積戻金	三、五七六
第三十三款	高等女學校臨時設備費 本年度支出額	四、八七〇	第四十款	事變費	六四一、三四八
第一項	倉吉高等女學校臨時設備費 本年度支出額	一、八三〇	第一項	縣職員費	三六、〇三二
第二項	根雨高等女學校臨時設備費 本年度支出額	三、〇四〇	第二項	教育費	一五、二七三
第三十四款	農業水利改良事業費交付金	六〇、〇〇〇	第三項	勸業費	五二一、六七〇
第一項	交 付 金	六〇、〇〇〇	第四項	防空費	二二、八五〇
第三十五款	千代川廢川地開墾事業費交付金	三、〇〇〇	第五項	兵事諸費	一一、八四八
第一項	交 付 金	三、〇〇〇	第六項	時局國民運動費	二六、二七五
第三十六款	治水事業費繰入金	五六、八一六	第七項	事變特報費	五、四〇〇
第一項	治水事業費繰入金	五六、八一六	第四十一款	縣債費	二、一九四、〇七九
第三十七款	男女青年團指導獎勵資金繰入金	二、七五〇	第一項	元 金 償 還	一、四六三、四〇〇
第一項	男女青年團指導獎勵資金繰入金	二、七五〇	第二項	利 子	七三〇、四三九
第三十八款	慈善救濟金繰入金	六〇〇	第三項	雜 費	二四〇
第一項	慈善救濟金繰入金	六〇〇	臨時部 計		五、〇三九、五七三
			歲 出 合 計		一〇、〇〇九、八六六
			昭和十七年度特別會計大禮恩賜賑恤資金歲入歲出豫算		
第三十九款	歲 入 合 計	一、〇五六	第一項	益	一、〇五六
第二項	繰 越 金	一	第一項	益	一、〇五六
第一項	繰 越 金	一	第一項	繰 越 金	一

00774

第七項	益	一、〇五六	第三款	繰 越 金	一
第二款	繰 越 金	一	第一項	國庫交付金	一七、一九〇
第一項	繰 越 金	一	第五款	國庫交付金	一七、一九〇
歲入合計		一、〇五七	第一項	國庫交付金	一七、一九〇
第一款	賑 恤 金	一圓	第五款	補 充 金	六〇〇
第一款	賑 恤 金	一圓	第一項	一般會計補充金	六〇〇
第二款	補 助 費	六〇〇	歲入合計		二一、三三五
第一款	社會事業補助費	六〇〇	第一款	救 濟 費	二一、一三〇
第三款	元 資 編 入 金	四四五	第一項	慈 惠 救 濟 費	二一、一三〇
第一款	元 資 編 入 金	四四五	第二款	元 資 編 入 金	二〇五
第四款	雜 費	一	第一項	元 資 編 入 金	二〇五
第一款	雜 費	一	歲出合計		二一、三三五
歲出合計		一、〇五七	昭和十七年度特別會計補災救助基金歲入歲出豫算		
第一款	償 還 金	一、四五三	第一款	償 還 金	二六、四〇〇
第一款	償 還 金	一、四五三	第一項	償 還 金	二六、四〇〇
第二款	益 金	二、〇九一	第二款	益 金	六六、〇四二
第一款	益 金	二、〇九一	第一項	益 金	六六、〇四二
第一項	益 金	二、〇九一			

第三款 繰越金	第一項 繰越金	第一項 益	六四七
第四款 元資受入金	第一項 繰越金	第二款 繰越金	四一七
第一項 元資受入金	第三款 補充金	第一項 繰越金	四、九一〇
歲入合計	第一項 一般會計補充金	第一項 繰越金	四、九一〇
歲出	歲入合計	第一項 繰越金	五、九四七
第一款 罹災救助費	第一款 男女青年團指導獎勵費	第一款 國民學校職員恩給金	四、九七三
第一款 救助費	第一款 指導獎勵費	第一款 普通恩給及增加恩給金	四、九七三
第二款 補助費	第一款 元資編入金	第二款 扶助料	四、九七三
第一項 補助費	第一項 元資編入金	第一款 一時恩給金	一、〇〇〇
第三款 元資編入金	第三款 備費	第四款 傷瘕賜金	一、〇〇〇
第一項 元資編入金	第一項 備費	第五款 分擔金	一、〇〇〇
第四款 繰入金	歲出合計	第一項 分擔金	一、〇〇〇
第一項 一般會計繰入金	昭和十七年度特別會計教育資金歲入歲出豫算	第一項 益	五、九七四
第五款 貸出金	歲出合計	第二款 償還金	二、〇三四
第一項 貸出金	昭和十七年度特別會計男女青年團指導獎勵資金	第一項 償還金	二、〇三四
第一項 貸出金	歲入	第二款 益	二、〇五九
歲出合計	歲入	第一項 益	二、〇五九
昭和十七年度特別會計男女青年團指導獎勵資金	歲入	第一項 益	六四七
歲入	歲入	第一項 益	六四七

第三款 繰越金	第一項 繰越金	第二款 繰越金	八、五五二
第四款 雜收入	第一項 繰越金	第三款 補充金	八、五五二
第一項 雜收入	第二款 繰越金	第一項 一般會計補充金	三四七、一五五
歲入合計	第三款 分擔金	第四款 分擔金	三四七、一五五
歲出	第四款 繰越金	第五款 繰越金	五、一〇三
第一款 貸付金	第一項 繰越金	第一項 繰越金	五、一〇三
第一款 獎勵金	歲入合計	第一款 國民學校職員恩給金	三六〇、八一二
第二款 獎勵金	第一款 國民學校職員恩給金	第一款 普通恩給及增加恩給金	二六〇、八六五
第三款 療治料	第一款 普通恩給及增加恩給金	第二款 扶助料	二六〇、八六五
第四款 疾病療治料	第二款 扶助料	第一款 一時恩給金	二六〇、八六五
第一項 備費	第一款 一時恩給金	第四款 傷瘕賜金	五三、〇五七
第一項 備費	第四款 傷瘕賜金	第五款 分擔金	五三、〇五七
歲出合計	第五款 分擔金	第一項 分擔金	五三、〇五七
昭和十七年度特別會計國民學校職員恩給金	第一項 分擔金	第一項 分擔金	一九、三七六
歲入	第一項 分擔金	第一項 分擔金	一九、三七六
第一款 益金	第一項 分擔金	第一項 分擔金	二七、五一三
第一項 益金	第一項 分擔金	第一項 分擔金	二七、五一三

歲出合計		三六〇、八二二
昭和十七年度特別會計國民學校職員加俸資金 歲入歲出豫算		
第一款 國庫補助金	入	五三、八七九
第一款 國民學校教育費國庫補助金	入	五三、八七九
第二款 益	金	一五二
第一款 益	金	一五二
第三款 繰越金	越	三、七一九
第一款 繰越金	越	三、七一九
第四款 補充金	金	一九、九〇八
第一款 補充金	金	一九、九〇八
第一款 一般會計補充金	金	一九、九〇八
歲入合計	計	七七、六五八
歲出合計		
昭和十七年度特別會計公立學校職員加俸資金 歲入歲出豫算		
第一款 國民學校職員加俸	出	七七、六五八
第一款 國民學校教員加俸	出	七七、六五八
歲出合計	計	七七、六五八
第一款 國庫補助金	入	一一、八五七
第一款 益	金	一一、八五七
第二款 繰越金	越	一一、八五七
第一款 益	金	一一、八五七
第一款 公立學校職員加俸	出	六〇、五八七
第一款 年功加俸	出	六〇、五八七
第二款 國庫納金	金	一〇、四〇〇
第一款 國庫納金	金	一〇、四〇〇
歲出合計	計	六一、六二七
昭和十七年度特別會計學校生徒獎勵資金 歲入歲出豫算		
第一款 益	金	三一
第一款 益	金	三一
第二款 繰越金	越	三一
第一款 益	金	三一

歲入合計		三三三
昭和十七年度特別會計就學獎勵資金歲入歲出豫算		
第一款 學校生徒獎勵費	出	三一
第一款 獎勵費	出	三一
第二款 豫備費	費	一
第一款 豫備費	費	一
歲出合計	計	三一
昭和十七年度特別會計就學獎勵資金歲入歲出豫算		
第一款 益	金	一〇〇五
第一款 益	金	一〇〇五
第二款 國庫交付金	金	二、七〇二
第一款 國庫交付金	金	二、七〇二
第三款 繰越金	越	一、六六三
第一款 繰越金	越	一、六六三
第四款 補充金	金	一、〇〇〇
第一款 補充金	金	一、〇〇〇
第五款 戻入金	金	一、〇〇〇
歲入合計	計	三三三
昭和十七年度特別會計倉吉農學校實習費 歲入歲出豫算		
第一款 就學獎勵費	出	六、〇四〇
第一款 就學獎勵費	出	六、〇四〇
第二款 學校給食臨時施設費	費	一〇、三〇〇
第一款 學校給食臨時施設費	費	一〇、三〇〇
第三款 元資編入金	金	一、〇〇〇
第一款 元資編入金	金	一、〇〇〇
第四款 豫備費	費	三〇
第一款 豫備費	費	三〇
歲出合計	計	一七、三七〇
昭和十七年度特別會計倉吉農學校實習費 歲入歲出豫算		
第一款 益	金	一
第一款 益	金	一
第二款 雜收	金	六、〇〇〇
第一款 雜收	金	六、〇〇〇
第三款 物品賣拂代	金	六、〇〇〇
第一款 物品賣拂代	金	六、〇〇〇
第三款 補充金	金	一、三四五
第一款 補充金	金	一、三四五

00779

第一項 一般會計補充金	一、三四五	第三款 補 充 金	二、〇〇〇
第四款 繰 越 金	一	第一項 一般會計補充金	二、〇〇〇
第一項 繰 越 金	七、三四七	第四款 繰 越 金	二二
歲入合計	七、三四七	歲入合計	五、五四三
歲出		歲出	
第一款 實 習 費	六、二九六	第一款 實 習 費	五、三四二
第一項 雜 給	二、一七八	第一項 雜 給	一、二二九
第二項 實 習 諸 費	四、一一八	第二項 實 習 諸 費	四、二二三
第二款 研 究 費	三五〇	第二款 研 究 費	二〇〇
第一項 研 究 費	三五〇	第一項 研 究 費	二〇〇
第三款 豫 備 費	七〇一	第三款 豫 備 費	一
第一項 豫 備 費	七〇一	第一項 豫 備 費	一
歲出合計	七、三四七	歲出合計	五、五四三
昭和十七年度特別會計日野農林學校實習費 歲入歲出豫算			
歲 入		歲 入	
第一款 益 金	一圓	第一款 益 金	一圓
第一項 益 金	一	第一項 益 金	一
第二款 雜 收 入	三、五二〇	第二款 雜 收 入	四、五〇〇
第六項 物品賣拂代	三、五二〇	第六項 物品賣拂代	四、五〇〇

00780

第一項 物品賣拂代	四、五〇〇	第一款 寄 附 金	一	
第三款 補 充 金	一、〇〇〇	第三款 雜 收 入	一	
第一項 一般會計補充金	一、〇〇〇	第一項 雜 收 入	一	
第四款 繰 越 金	四〇〇	第四款 繰 越 金	五〇〇	
第一項 繰 越 金	四〇〇	第一項 繰 越 金	五〇〇	
歲入合計	五、九〇一	歲入合計	三三、三四二	
歲出		歲出		
第一款 實 習 費	五、三九二	第一款 中等學校改築費	三三、八一〇	
第一項 雜 給	一、一八四	第一項 學 校 改 築 費	三三、八一〇	
第二項 實 習 諸 費	四、二〇八	第二款 豫 備 費	五三三	
第二款 研 究 費	三五〇	第一項 豫 備 費	五三三	
第一項 研 究 費	三五〇	歲出合計	三三、三四二	
第三款 豫 備 費	一五九	昭和十七年度特別會計治水事業費歲入歲出豫算		
第一項 豫 備 費	一五九	歲 入		
歲出合計	五、九〇一	第一款 國 庫 補 助 金	三、九五〇	
昭和十七年度特別會計中等學校改築費歲入歲出豫算				
歲 入		第一款 治 水 事 業 費 補 助 金	三、九五〇	
第一款 補 充 金	三二、八四〇	第二款 造 林 收 入 金	六、〇〇〇	
第一項 一般會計補充金	三二、八四〇	第一項 造 林 收 入 金	六、〇〇〇	
第二款 寄 附 金	一	第三款 縣 債	二一、〇〇〇	
第一項 寄 附 金	一	第一項 縣 債	二一、〇〇〇	



第四款 繰入金	五六、八一六	第四款 雜收	六四九
第一項 一般會計繰入金	五六、八一六	第一項 雜收	六四九
歲入合計	八七、七六六	歲入合計	八二五、四二七
歲出		歲出	
第一款 治水事業費本年度支出額	一二、三六八	第一款 償還	三三五、四二七
第一項 事業費	一二、三六八	第一項 償還	三三五、四二七
第二款 縣債費	七四、一九八	第二款 貸付	五〇〇、〇〇〇
第一項 縣債費	七四、一九八	第一項 貸付	五〇〇、〇〇〇
第三款 交付金	一、二〇〇	第三款 雜收	八二五、四二七
第一項 造林收入交付金	一、二〇〇	第一項 雜收	八二五、四二七
歲出合計	八七、七六六	歲出合計	八二五、四二七
昭和十七年度特別會計自作農創設維持獎勵資金 歲入歳出豫算		昭和十七年度特別會計自作農創設未墾地開發資金 歳入歳出豫算	
歲入		歲入	
第一款 國庫補助金	四三、八九七	第一款 償還	一八〇
第一項 國庫補助金	四三、八九七	第一項 償還	一八〇
第二款 債還	二八〇、八八一	第二款 償還	一八〇
第一項 債還	二八〇、八八一	第一項 償還	一八〇
第三款 縣債	五〇〇、〇〇〇	第三款 雜收	一八〇
第一項 縣債	五〇〇、〇〇〇	第一項 雜收	一八〇
歲入合計	一、〇〇〇、〇〇〇	歲入合計	一、〇〇〇、〇〇〇

第一款 償還	六、一七四	第一款 辨濟	一〇四、〇〇〇
第一項 償還	六、一七四	第一項 辨濟	一〇四、〇〇〇
第二款 雜收	一	第二款 雜費	一
第一項 雜收	一	第一項 雜費	一
歲入合計	六、一七五	歲出合計	一〇四、〇〇一
歲出		昭和十七年度特別會計時局對策畜產獎勵資 金歳入歳出豫算	
第一款 縣債費	五、九六一	第一款 償還	四二、六六三
第一項 元金償還	五、八〇〇	第一項 償還	四二、六六三
第二款 利息	一六一	第二款 縣債	四〇、〇〇〇
第一項 利息	一六一	第一項 縣債	四〇、〇〇〇
第三款 雜費	二二四	第三款 雜收	八二、六六四
第一項 雜費	二二四	第一項 雜收	八二、六六四
歲出合計	六、一七五	歲入合計	八二、六六四
昭和十七年度特別會計畜產增殖資金歳入歳出豫算		歲入	
歲入		第一款 償還	四二、六六三
第一款 償還	一〇四、〇〇〇	第一項 償還	四二、六六三
第一項 償還	一〇四、〇〇〇	第二款 縣債	四〇、〇〇〇
第二款 雜收	一	第一項 縣債	四〇、〇〇〇
第一項 雜收	一	第三款 雜收	一
歲入合計	一〇四、〇〇一	第一項 雜收	一

第一項 元金償還	四〇、〇〇〇	第一項 雜費	一、五八一
第二項 利息	二、六六三	第二項 縣債	六〇、〇〇〇
第三項 雜費	一	第三項 債還	六〇、〇〇〇
歲出合計	八二、六六四	第一項 債還	三、六〇〇
昭和十七年度特別會計種牡牛獎勵事業費 歳入歳出豫算		第二項 債還	三、六〇〇
歳入		第三項 雜收	六三、六〇一
第一款 使用用料	四二、五三四	歳入合計	六三、六〇一
第二款 雜收	四、一〇一	第一款 貨付	六〇、〇〇〇
第一項 物品賣拂代	四、一〇〇	第二款 貨付	六〇、〇〇〇
第二項 雜入	一	第三款 價還	三、六〇〇
歳入合計	四六、六三五	第一項 雜費	三、六〇〇
第一款 種牡牛購入費	四一、〇〇〇	第三項 雜費	一
第一項 種牡牛購入費	四一、〇〇〇	歳出合計	六三、六〇一
第二款 償還	四、〇五四	第一款 一般會計補充金	九〇〇
第一項 償還	四、〇五四	歳入合計	六、四〇五
第三款 雜費	一、五八一	第一款 實習費	六、二一一

第一項 元金償還	四〇、〇〇〇	第一項 補充金	九〇〇
第二項 利息	二、六六三	第二項 一般會計補充金	九〇〇
第三項 雜費	一	歳入合計	六、四〇五
歲出合計	八二、六六四	第一款 實習費	六、二一一
昭和十七年度特別會計種牡牛獎勵事業費 歳入歳出豫算		第二款 實習諸費	一、三六九
歳入		第三款 研究費	四、八四二
第一款 使用用料	四二、五三四	第一項 研究費	一〇〇
第二款 雜收	四、一〇一	第二項 研究費	一〇〇
第一項 物品賣拂代	四、一〇〇	第三項 豫備費	九四
第二項 雜入	一	歳出合計	六、四〇五
歳入合計	四六、六三五	昭和十六年度鳥取縣歳入歳出追加更正豫算	
第一款 種牡牛購入費	四一、〇〇〇	經常部 (△印、減高)	
第一項 種牡牛購入費	四一、〇〇〇	第一款 國稅附加稅	六二、〇四五
第二款 償還	四、〇五四	第一項 地租附加稅	三五、七四八
第一項 償還	四、〇五四	但シ地租豫算高現年度十七萬八千七百四十二圓本稅一圓ニ付金二十錢	
第三款 雜費	一、五八一	第二項 營業稅附加稅	二六、二九七
歳出合計	六三、六〇一	但シ營業稅豫算高現年度十三萬一千四百八十八圓本稅一圓ニ付金二十錢	

第二項 獨 立 稅	一八、九〇八	第三項 勸 業 費	四、七〇四
第九項 家 屋 稅	一八、九〇八	第一項 勸 業 費	四、七〇四
但シ家屋賃貸價格現年度五百四十萬二千五百二十二圓賃貸價格一圓ニ付金三厘五毛		第三十款 自作農創設維持獎勵資金繰入金	六三九
第四款 地 方 分 與 稅	一〇、七〇三	第一項 自作農創設維持獎勵資金繰入金	六三九
第二項 配 付 稅	一〇、七〇三	第三十五款 縣 債 費	二六、九〇〇
歲入經常部計	九一、六五六	第一項 元 金 償 還	二六、九〇〇
第七款 縣 債	一三三、〇〇〇	歲出臨時部計	四四、九五三
第一項 縣 債	一三三、〇〇〇	歲出 合 計	四〇、三四四
歲入臨時部計	一三三、〇〇〇	昭和十六年度特別會計大禮恩賜賑恤資金 歲入歲出更正豫算	
歲入 合 計	四〇、三四四	第一項 償 還 金	(△印)減高 三、一三三
第十八款 縣 稅 取 扱 費	四、六〇九	第一項 償 還 金	三、一三三
第一項 徵 收 費	四、六〇九	第三款 元 資 編 入 金	三、一三三
歲出經常部計	四、六〇九	第一項 元 資 編 入 金	三、一三三
第二款 臨 時 部 費	二、七一〇	歲出 合 計	三、一三三
第一項 教 育 費	二、七一〇	昭和十六年度特別會計權災救助基金 歲入歲出更正豫算	
第一項 特別會計補充費	三、〇〇〇	第一項 償 還 金	(△印)減高 七、二一〇
第二項 特別會計戻入金	九、七一〇	第一項 償 還 金	七、二一〇

第一項 償 還 金	二六、九〇〇	第一款 償 還 金	七、二一〇
第四款 元 資 受 入 金	一〇五、一〇〇	第一項 償 還 金	七、二一〇
第一項 元 金 受 入 金	一〇五、一〇〇	歲入 合 計	七、二一〇
歲入 合 計	一三三、〇〇〇	第五款 貸 出 金	三、二六二
第五款 貸 出 金	一三三、〇〇〇	第一項 貸 付 金	三、二六二
第一項 貸 出 金	一三三、〇〇〇	第四款 豫 備 費	三、九四八
歲出 合 計	一三三、〇〇〇	第一項 豫 備 費	三、九四八
昭和十六年度特別會計男女青年團指導獎勵資金 歲入歲出更正豫算		歲出 合 計	七、二一〇
第一款 償 還 金	(△印)減高 一、五七二	昭和十六年度特別會計公立學校職員加俸資金 歲入追加更正豫算	
第一項 償 還 金	一、五七二	第三款 繰 越 金	(△印)減高 三、〇〇〇
歲入 合 計	一、五七二	第一項 繰 越 金	三、〇〇〇
第二款 元 資 編 入 金	一、五七二	第四款 補 充 金	三、〇〇〇
第一項 元 資 編 入 金	一、五七二	第一項 一 般 會 計 補 充 金	三、〇〇〇
歲出 合 計	一、五七二	歲入 合 計	三、〇〇〇
昭和十六年度特別會計教育資金歲入歲出更正豫算			

昭和十六年度特別會計就學獎勵資金  
歳入追加更正豫算

第三款 繰越金	(△印ハ減高)	第九款 衛生及病院費	五、九〇一圓
第一款 繰入金	二、五〇〇	第三款 經常部	五、九〇一
第五款 戻入金	二、五〇〇	第六項 衛生費寄附金	九、六一四
第一款 一般會計戻入金	二、五〇〇	第八款 縣債	一六五、〇〇〇
歳入合計	二、五〇〇	歳入臨時部計	三三九、六一四
昭和十六年度特別會計自作農創設維持獎勵資金 歳入追加更正豫算		歳入合計	三三九、六一四
第四款 繰入金	(△印ハ減高)	第九款 經常部	五、九〇一圓
第一款 一般會計繰入金	六三九圓	第三款 結核療養所費	五、九〇一
第六款 繰越金	六三九	歳出經常部計	五、九〇一
第一款 繰越金	六三九	臨時部	
歳入合計	六三九	第四十一款 縣債	三、七二三
昭和十七年度鳥取縣歳入歳出追加豫算		第二項 利子	三、七二三
臨時部		第四十二款 結核療養所建設費	三三〇、〇〇〇
第二款 國庫補助金	一六五、〇〇〇圓	第一項 結核療養所建設費	三三〇、〇〇〇
第四項 衛生費補助金	一六五、〇〇〇	歳出臨時部計	三三三、七二三
		歳出合計	三三九、六一四

鳥取縣告示第九百九十五號

牧野法第一條ノ二ニ依リ左ノ牧野ヲ牧野特定地ニ指定セントス依テ直接利害關係ヲ有スル者ニシテ指定ニ對シ異議アルトキハ昭和十七年一月十六日迄ニ意見書ヲ知事ニ提出スベシ

昭和十六年十二月二十三日

位置	區	鳥取縣知事	面積	所有者
鳥取縣 日野郡日野村	大字小原字大空五四七番地一八 大字別所字山谷一、二七八番地一	鳥取縣知事	一八四、四〇	日野村
鳥取縣 日野郡根雨町	大字高尾字野路山七〇四番ノ一 同 七〇四番ノ二 同 七〇四番ノ三 同 七〇四番ノ四	鳥取縣知事	三五、〇〇	根雨町
鳥取縣 日野郡福榮村	大字神福字野原五〇〇番ノ一 同 五〇〇番ノ二	鳥取縣知事	三七、〇〇	飛時原農事實行組合
鳥取縣 日野郡石見村	大字下岩見字荒田與一九九四ノ一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇、三一一、三一二、三一三、三一四、三一五、三一六、三一七、三一八、三一九、三二〇、三二一、三二二、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九、三三〇、三三一、三三二、三三三、三三四、三三五、三三六、三三七、三三八、三三九、三四〇、三四一、三四二、三四三、三四四、三四五、三四六、三四七、三四八、三四九、三五〇、三五〇	岸 政藏外三十一名 下石見部落		



00791

地區内ニ於テ人形玩具ノ製造販賣ヲ爲ス者  
三 價格等統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

種別	品名	規格	單位	卸賣業者最高販賣價格	小賣業者最高販賣價格
土燒人形	天神	中	四寸五分	一箇紙函入	四八〇
		高	四寸三分		
衣裳及布切人形	あや羽人形	中	二寸九分	同	二八〇
		高	一寸四分		
同	座人形	中	三寸五分	同	四〇〇
		高	三寸五分		
同	田舎雛	中	三寸五分	一組同	四八〇
		高	三寸五分		
同	面かぶり	中	三寸五分	一箇	一二五
		高	三寸五分		
同	襦子おやま	中	七寸	同	〇四〇
		高	七寸		
紙人形	流し雛	中	三寸五分	一組	〇三二
		高	二寸五分		
同	紙おやま	中	七寸	一箇	〇一六
		高	七寸		

本表價格ハ賣主店先渡價格トス

(ロ) 實施ノ日 昭和十六年十二月二十三日

四 認可ニ附シタル條件

(イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ  
認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ揭示スベシ

00792

◇鳥取縣告示第九百九十八號

肥料配給統制規則第十一條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル統制肥料ノ販賣價格左ノ通指定ス

昭和十六年十二月二十三日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

- 一 鳥取縣產業組合會又ハ鳥取縣肥料商業組合ガ統制肥料ヲ縣内省線並直通運帶社線着驛ホーム渡又ハ着驛最寄倉庫渡ノ最高販賣價格ハ農林大臣ノ指定シタル道府縣指定統制團體、卸賣商又ハ道府縣產業組合聯合會ノ省線並直通運帶社線各驛着車抜貨車乘渡貨込現金建價格ニ正味十貫ニ付十錢加算シタル額トス但シ加算額ハ一包裝正味重量ニ依リ算出シ厘位ハ切捨ツルモノトス
- 二 本價格ハ一車單位ニ滿タザル貨車輸送又ハ又ハ小口轉送ノ場合ヲ含ムモノトス

正 誤

八月二十六日鳥取縣告示第六百九十號中九頁三行目三段「高サ一尺七分」ハ「高サ一寸七分」ニ十月三十一日鳥取縣告示第八百五十四號中四頁九行目「二〇%」ハ「三〇%」ニ五頁九行目中段「五匁」ハ「五十匁」ニ七頁初行「八匁」ハ「八十匁」ニ孰モ誤  
十一月十八日鳥取縣告示第八百八十九號中九頁初行ノ次ニ

- 「大人用紙製網入防寒テヨッキ」 身丈一、三五尺 身巾二、五〇尺 一九匁以上 一枚七六、九一
- 「兒童用紙製網入防寒テヨッキ」 身丈一、〇五尺 身巾二、二〇尺 一二匁以上 一枚六〇、七二ヲ脫落

十一月二十一日鳥取縣告示第九百六號中二頁二行目二段「一尺五寸」ハ「一尺五分」ニ十一月二十八日鳥取縣令第六十六號中一頁上

00793

段三行目「小麥」ハ「小麥」ニ二頁下段二行目「前年度」ハ「前年度」ニ四頁下段六行目「計畫」ハ「計畫」ニ五頁下段八行目「支米式」ハ「支米ニハ別記様式」ニ六頁上段二行目「検査ノ」ハ「検査済ノ」ニ同下段一行目「届出デ」ハ「届出テ」ニ同一八行目「以テ」ハ「以テ」ニ七頁下段初行「各項」ハ「各號」ニ「モノハ」ハ「者ハ」ニ同八行目「濫リ」ハ「濫」ニ同九行目「濫リ」ハ「濫」ニ同一頁様式第五號中「二等合格格」ハ「一等及合格」ニ「五頁様式第七號中「五等」ハ「五等」ニ執モ誤  
十二月二日鳥取縣告示第九百三十二號中「二〇頁八行目上段「外儀(同)」ハ「同(外儀)」ニ誤  
同十行目ノ次ニ「參照昭和十五年鳥取縣告示第六百六十七號ハ鳥取縣ヲ脱落  
農會ニ對スル水稻種子等販賣價格認可ノ件ナリ」  
十二月九日鳥取縣告示第九百四十三號中三頁初行「シンヂヤ」ハ「シンヂヤ」ニ同月同日鳥取縣告示第九百五十三號中一〇頁八行目「SKM」ハ「SKM」ノ執モ誤

彙報

一月 一日は「決戦生活態勢へ」

皇國臣民たるの自覺に徹せよ

(振興課)

興亞奉公日

采は既に投げられ、大東亞戰爭は遂に十二月八日未明を以て開始せられた。我々は此處に雄渾なる世紀創造の新年を迎え、新なる決意を以て此の大東亞戰爭を戦ひ抜かなければならない。此處に於て來る皇紀二千六百二年元旦の興亞奉公日の道標は「決戦生活態勢へ」と決定せられたので、我々は既に今一で備へ來つた

生活態勢を更に強化して之が實踐に挺身せねばならぬ。

此のためには深く皇國臣民たるの自覺に徹し、必勝の信念を以て敢闘の氣魄を昂揚し次の如き「決戦生活訓」を力強く實踐しなければならぬ。特に部落會、町内會隣保班に於ては集團の力、協同の精神を一層發揮し、之が實現に全力を集中しなければならぬ。

外に世界道義顯現のため戦ひつゝある時、内に於ても高度の道義心を發揮し、盡忠の赤誠に相結び、一億水も洩らさぬ團結を固めて強く戦ひ、正しく建設して以て 聖旨に應へ奉らなければならぬ。

らぬのである。

實踐事項

- 1 決戦生活訓
- 1 強くあれ、必勝の信念を以て職域を守れ
- 2 家庭も戦陣、生活を擧げて御奉公の誠を盡せ
- 3 國土防衛は協力一致、隣組の力で持場を固めよ
- 4 流言に迷ふな、當局の指示を信頼して行動せよ
- 5 國運を賭しての戦ひだ、沈着平靜、最後まで頑張れ

大東亞戰爭と國民生活

年末年始の生活を緊張して

決戦下生活の出發點とせよ

(振興課)

支那事變も第五年を送らうとする十二月八日、遂に米・英に對する宣戰の 大詔は喚發せられて、我が皇國は敢然大東亞戰爭に突進することとなつたのであるが、開戦以來皇軍の戦果は眞に目ざましいものであつて、世界各國はいふまでもなく、我が國民でさへそのあまりに鮮かなる戦捷ぶりに自ら驚くばかりである。

しかし何といつても米・英は世界に最大最強を誇る列強中の雄である。言を換へていへば或は、相手の力を餘りに小さく見誤つてゐた大關が、立ち上りに虚をつかれてタダ／＼となつた處とでもいひ得ようか。戦は正にこれからである。いよ／＼腰を据へて四つに組むとなれば、非常な長期戦となるべきは蓋し當然であつて我が一億國民は傳握なる 大詔の 聖旨を体して、いよ／＼殉國の決意を新にしなければならぬのである。

茲にこの、有史以來未だ曾て見ざる大戦下に皇紀二千六百年昭和十六年を送り、新しく昭和十七年を迎ふるに當りて眞に時局の重大性を認識し、各自の生活に一層の緊張を加へ、年末並に年始の生活を簡素にして明朗且剛健なる決戦下の生活たらしめ、眞に戦時生活の新たなる出發點たらしめることは、まことに現下の喫緊事といはねばならぬ。

即ち本縣では、年末年始に於ける縣民生活への對策として、次の如く要項を定めて各位の勵行を要望してゐる次第である。

◆ 年末年始對策要綱

- 一 「虚禮や無駄」の徹底的排除
- 忘年會、新年會等の會合、歳暮、年始等の贈答及び年賀狀、年頭の回禮等は一切差控へ、特に服裝等努めて簡素ならしめること。

00794

00795

二 年末年始用品は最少限度に

年末年始用品は極力物資の節約に努め、特に門松(小枝以外は用ひざること)七五三飾等をしつらへる場合は極めて質素を旨とし、又食糧品等は配給による消費規正を嚴重に守り、苟も買溜、浪費等の絶対になき様心掛けること。

三 物を買ふより先づ貯蓄

「百七十億貯蓄」の新目標は是が非でも達成せねばならぬ。従つて賞與其他の収入は極力貯蓄に振向け尙豫算生活記帳實施により経費を極度に切詰め、更に年末年始用品のみに限らず、新調、新規購入等は絶対に見合せ、貯蓄奉公に邁進すること。

四 安逸を廢し輸送に協力

暖衣飽食遊惰の風は些かたりとも之を除き、行樂旅行は勿論、不急不用の旅行は絶対に廢止し、更に小包其の他の託送荷物等も極力差控へ鐵道輸送力の緩和に協力すること。

五 志氣を高揚して隣保協同、力強く和やかに

如何なる事態に處しても動搖せぬ有機的團體訓練を目標に、決戦態勢下の新年にふさはしく力強く和かに隣組や部落會、町内會を中心に質實剛健且つ明朗な團體的行事を行ひ、志氣を高揚して大國民たるの矜持を以て忍苦と朗明を失はず、資源回收等には進んで之に參じ隣保、致水も洩さぬ緊密の確立に力め

附記

年末年始對策實施に當つてはその地方實情に應じて有効適切な方途を講じ、之が徹底を圖ること、之が爲には家庭常會を開かして又隣組、部落會、町内會、常會等を通じて趣旨の普及實踐申合せに力むる外、官公署、會社、工場、學校、各種地域職域團體、百貨店商店等の協力を求め運動の徹底を期すること。

備考

門松、七五三飾は我國古來の美習なるも、時局に鑑み資材の節約を圖る趣旨に則り、門松は凡て小枝程度のもの、七五三飾の稻穂等は特に用ひざる如く留意し、此際官公署、銀行、會社、工場、料亭、旅館等の大掛りなるものは之を全廢すること。

滿洲農業開拓民

未招致家族の援護

(社會課)

先にも記す通り、滿洲開拓民の家族で内地の事情とか現地の建設狀況等の理由によつて渡滿が遲延するもので、生活費の援護を

00796

要する者に對しては、豫算の範圍内に於て補助金を交付することになつてゐるが、本年度に於てこの家族援護を受くべき本縣送出開拓民は

第九次早期本隊 (上歐伊)

第一次集合本隊 (徳勝)

第二次集合先遣隊 (西黄泥河)

轉業開拓民

の四種である。

この滿洲農業開拓民未招致家族の援護費交付に當つては、殘留家族をして依頼心を抱かしめるやうなことの無い爲、家族の努力によつて自活するの方途を講ぜしめ、或は隣保相助精神に基く市町村部落等の勤勞奉仕により其の生活を維持せしめるを原則とするのであつて、かくてなほ生活の困難なものに對してこの補助金を交付することになつてゐる。

補助金交付の限度は市町村の實情とか、家族の構成・生活狀況等に依つて一定しないが、本年度は豫算の關係もあつて、大体殘留期間滿三ヶ月以上に及ぶものに對して一月平均一ヶ月金拾圓以内を交付し、なほ該當市町村又は市町村に於ける團體等に於て、縣補助金と同額以上の補助金を助成するを條件として交付することになつてゐて、補助金の交付を必要とするものについては市町村

長に於て、二月二十五日限り所定様式の調書を附して知事に申請することになつてゐるのである。なほこの未招致家族扶助の趣旨に反するものがあると認められる時は、補助金の全部又は一部の返還を命ずる場合があるから注意されたい。

社會保健委員に就て

(社會課)

國民生活 國民生活に於て保健の大切なことは殊更喋々するまでもない。まして今大東亞戰爭の長期性は軍事に産業に人的資源の重要性を幾倍加し、我が皇國民の量的質的な増加は益々緊要となるわけである。

然るに本縣内には醫療及助産方面に於ける設備が不充分の處も相當に多く、且つ一般縣民の此の方面の思想及知識等も極めて貧弱であつて、従つて傷病疾病の介護、要保護者、乳幼児妊産婦並に學童の保護や防疫・保健衛生等の上に遺憾な點が頗る多いため縣では全國に先昭和十二年以來各市町村に社會保健委員を設置して、その部内に於ける療養介護及育児榮養等について保護指導を與へ、一面保健衛生思想の普及高揚を圖ることとなつてゐるの



であつて、爾後追々其の充實を見つゝあることは喜ばしい次第であるが、尙全体的に見てその普及の不充分であることは遺憾である。縣下各町村特に無醫町村に於ては速にこれが設置に努められるやう切望に堪へない。

社會保健委員

は其の町村に定任して部内一般の保健衛生上の調査研究に努めると共に、衛生思想の高揚・施設の改善に資する等のことに當り、全体的な健康の保持増進に寄與して社會衛生保健の確保に努め、要改善地區及び國民學校・託兒所等の兒童の集團に對し、醫師産婆等の存在する地域に於てはこれらと連絡して、全体的個別的に介護處置及び指導を與へて其の保健乃至日常生活の改善を圖り、且つ傷病者・乳幼児・妊産婦軍人家庭及び要救療保護家庭等に對しては隨時直接これを訪問して慰問介護處置並に保健衛生上の保護指導を行ひ、なほ部内各種社會事業及び教化事業機關に連絡協力せしめやうとするものである。

委員の養成

について概説すると、縣の委託により鳥取縣社會事業協會の經營するものであつて、修業年限は以前は一ヶ年であつたが昭和十五年より二ヶ年とし、第一年度は看護婦修業年度として宿舎に收容し日本赤十字社鳥取縣支部病院にて教養を積ましめ第二年度は産婆修業年度とし市内の産婆家

庭に分散寄宿せしめ専ら助産の技術を修得せしめるのである。生徒定員は十名であつて、十八歳以上三十歳未満にして修業後現任市町村に永住の見込があり、生活に不安なくして社會的活動可能な者につき、市町村長よりの推薦者中より書類詮詰と身体検査の結果によつて入所せしめるのであるが、學力程度は國民學校高等科卒業若くはこれと同等以上の學力を有するものである。修了後は看護婦及び産婆の實力を有せしめてその檢定受檢資格を與へ、縣の檢定試験を受けしめ、縣社會保健委員に任命するものであつて、待遇は大體平均三十圓以上の月額を受けしめる。

又、一旦勤務せしめた後適當の時期に於て長期講習、及び年一回の短期講習を行つて再教育を行ふことになつてゐる。社會保健委員養成に要する經費については縣の場合に於て一ヶ年五千餘圓の豫算が計上せられてゐるが、生徒負擔として毎月七圓、外に教科書及び白衣等約三十圓内外を要する。

保健婦事業

はこの一二年來人的資源涵養の點に乗つて一躍國家及地方の一大事業に發展したのであつて本縣が其の先鞭をつけて以來本年度に入つて二十數府縣が其の養成配置の計畫をしてゐる盛況で、政府としても愈々保健婦規則を制定して其の身分資格を確立し其の養成普及方に乗り出さうとしてゐる次第である。本縣が此の新興事業の先進縣として全國的名譽を博してゐる事は洵に快心の事であつて、縣下各町村に於ても充分この趣旨を理解せられ、其の設置についても亦委員の勤務活動に就ても充分効果あらしむるやう切望する次第である。

兵器献納資源回收  
運動釀出金報告

- 一金 參拾四圓五拾錢
- 一金 六圓
- 一金 拾六圓六拾錢
- 一金 拾四圓拾錢
- 一金 拾貳圓
- 一金 拾壹圓拾五錢
- 一金 七拾壹圓四拾五錢
- 一金 貳圓貳拾九錢
- 一金 七圓

- 町村名
- 西伯郡和田村
- 東伯郡三徳村
- 岩美郡本庄村
- 東伯郡八橋町
- 東伯郡東郷村
- 東伯郡松崎村
- 東伯郡鹿野町
- 西伯郡大高村
- 西伯郡餘子村
- 西伯郡瑞穂村
- 東伯郡北谷村

- 一金 參拾壹圓八錢
- 一金 四圓八拾七錢
- 一金 拾四圓九拾錢
- 一金 四圓九拾錢
- 一金 拾壹圓拾壹錢
- 一金 參圓五錢
- 一金 五拾貳圓拾五錢
- 一金 五拾貳圓拾六錢
- 一金 五圓五拾參錢
- 一金 五圓貳拾六錢
- 一金 拾圓五拾錢
- 一金 壹千圓
- 一金 四拾五圓七拾錢
- 一金 拾壹圓參拾九錢
- 一金 八圓壹錢
- 一金 拾六圓貳拾壹錢
- 一金 拾八圓貳拾六錢
- 一金 九圓六拾五錢
- 一金 貳拾圓五拾八錢

- 西伯郡中濱村
- 氣高郡小鷲河村
- 入頭郡賀茂村
- 東伯郡淺津村
- 西伯郡大山村
- 日野郡八郷村
- 日野郡神奈川村
- 岩美郡浦富町
- 西伯郡庄内村
- 日野郡福榮村
- 東伯郡矢送村
- 岩美郡大岩村
- 鳥取縣製麵工業組合
- 入頭郡河原町
- 東伯郡小鹿村
- 東伯郡離手村
- 氣高郡末恒村
- 西伯郡大國村
- 岩美郡福部村
- 東伯郡赤碕町

◎ 行旅死亡人

一 本籍、住所、氏名、年齢、性別、職業  
本籍、住所、氏名不詳三十歳乃至四十歳ノ男性ト推定死後四

00799

年位經過シタル白骨死體

二 著衣及遺留金品 ナシ

三 死體發見年月日 昭和十六年十月一日

四 假埋葬年月日及場所 昭和十六年十月二十五日函館市字蟻

媚野共同墓地

五 取扱者 函館市長

備考 昭和十六年十月一日函館市字蟻媚野地内ヌルイ川上流

木炭燒小屋ニ於テ變死シタル白骨死體ヲ發見シタルモ

身元不詳ニ依リ前記ノ通埋葬ス

右心當リノ向ハ直接該市長宛照會相成度

◎ 行旅死亡人

一本籍、住所、氏名不詳 年齡四十五歳位、男子

一 体格 瘠型、身長 五尺一寸位 頭髮 長ク 目 細ク

一 口、耳、鼻普通 右脚膝下二寸位ノ所ヨリ無シ

一 着衣 黒木綿 半長メリヤスシャツ スレン平ズボン茶色

鳥打帽 地下足袋

一 所持品 松葉杖 辨當箱 煙管 武運長久祈願札 鐵道切符

昭和十五年一月八日付 直理一岩根

昭和十六年一月十三日付 磐城石川一川東

昭和十六年十二月廿三日印刷

昭和十六年十二月廿三日發行

昭和十六年二月七日付 平一泉

右ハ昭和十六年十月一日岩手縣下閉伊郡門馬村大字平津戸山田線

大峠第一トンネル入口ニ於テ病死致居ルニ付川井組合村ニ於テ假

埋葬ス

右心當リノ向ハ直接當該村長宛照會相成度

◎ 行旅死亡人

一本籍、住所、氏名 不詳

一 年齡、性別 推定七十歳位 男

一 一人相、特徴、着衣 外見土方風ニシテ体格普通身長五尺三

寸位頭髮丸刈半白顔色淺黒眉手濃ク鬚延ビ眼口普通特ニ口唇

タダレ居ル黒アツシニ股引ヲ穿ツ

一 所持品 古中折帽子草履及空財布

一 死亡ノ場所及日時 昭和十六年十一月八日

高岡市新横町 東 病院

一 其ノ他 本人ハ富山驛一金澤驛間ノ切符ヲ持參シ富山

驛發午後七時〇八分ニ乗車途中發病シ高岡驛下車待合室ニ於

テ病臥中ナリシ爲前記病院ニ收容死亡セルモノナリ

右心當リノ向ハ直接該市長宛照會相成度

鳥取縣鳥取市東町 發行所 鳥取縣高岡郡大正村大字古海 印刷所 鳥取縣支所